

従業員とともに

Together with employees

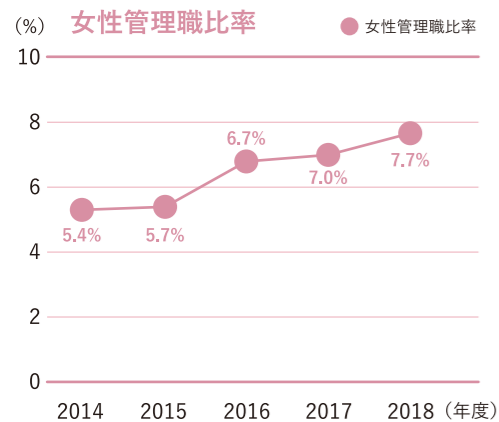
ダイバーシティ&インクルージョンの推進により、ものづくり技術力の継承・強化と人材のグローバル化に努めます。

マネジメント・アプローチ

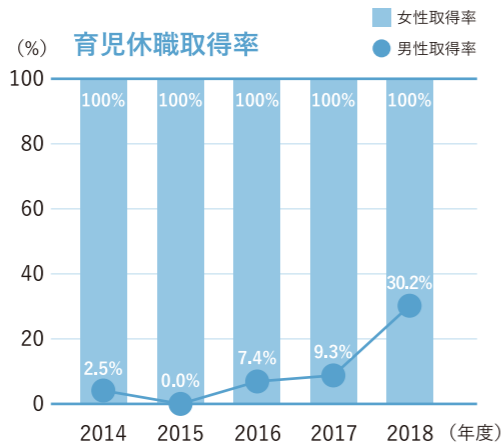
日本化薬グループは、KAYAKU spirit 実現の行動主体である従業員一人ひとりの人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョン※1(良心の結合※2)を念頭に置いた人材マネジメントにより、「いい会社・強い会社になる」ことを目指しています。従業員全員が、個々の能力を最大限発揮し、やりがいを持ち、いきいきと働くことができる会社(いい会社)は、自らの成長と会社の継続的な発展(強い会社)を可能とします。この達成に向け、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境づくりと新たな付加価値創造に向けたさまざまな「働き方改革」に取り組んでいます。



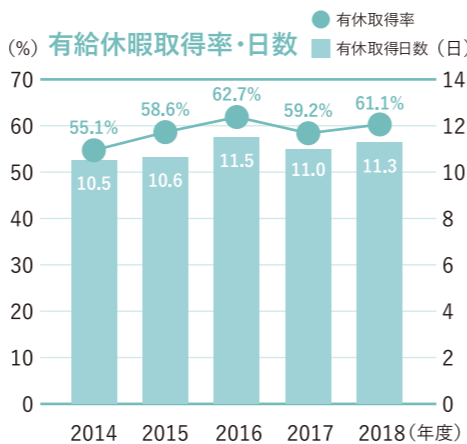
ダイバーシティの推進



男女共同参画



ワーク・ライフ・バランスの充実



※1 ダイバーシティ&インクルージョン：人材の多様性を受け入れ、従業員一人ひとりの違いを認めながら活かしていく考え方
 ※2 良心の結合：社是の言葉。P6「CSR マネジメント」をご参照

VOICE

ダイバーシティの推進

ダイバーシティを推進する会社の支援に共感します

入社2000年当時のKSE※の従業員数は107名、現在では1,076名(内女性539名)が在籍しています。女性管理職数は、私を含め4名で、女性のチームリーダーは、人事部1名、製造部10名です。会社の発展のため最も重要なのはチームのダイバーシティだと思っています。

私たち女性従業員は、良い仕事環境とワーク・ライフ・バランスを常に求めているので、人事部では産休から戻ってくる女性の職場復帰を支援するため、幼い子どもを持つ女性のために一部の職場でアルバイト制度を導入しました。

女性にとって製造部門で働くことはとても厳しいことですが、女性作業員たちからは、KSEは安定的で従業員への



Kayaku Safety Systems Europe a.s.
Jitka Simarova

教育等をしっかりと行ってくれる会社だと高く評価を受けています。女性は仕事と家庭の両立を達成するために、強く自立した女性であるべきだと考えています。自分自身の欠点を認め、それらを乗り越え自分の価値と人生の価値を理解して生きていくべきだと思います。

※KSE：チェコにある自動車安全部品の製造会社

男女共同参画

仕事から離れ、家事育児に専念できるからこそ、新しい気づきがあります

私は、第二子出産による妻の負担軽減および第一子(当時3歳)の心の充足を目的に、半年間の育児休職を取得しました。

育児休職期間中は、毎日全力で泣き成長していく第二子と、新たな環境に戸惑いながらも受け入れて成長する第一子の姿を夫婦で見守るという充実した時間を過ごし、今まで以上に家族の幸せを感じる日々でした。その一方で、24時間子どもと向き合い続けることの大変さも強く実感しました。

また、第一子の保育園送迎から園での日常生活に触れる中で、子どもが毎日保育園で頑張ってくれているからこそ、共働きの私たちが仕事を続けることができるということ



機能化学品事業本部 企画部
眞崎 康治

にも気づかされました。仕事から離れ家事育児に専念する育児休職は、新しい気づきをたくさん与えてくれ、私の人生において大変貴重なものとなりました。

職場の皆さまには育児休職の取得および復職に際し快くご対応いただき大変感謝しています。